

J A 広報

いなかね

今金町農業協同組合

No. 4 3 3

平成23年7月



新鮮野菜はいかがですか？
もぎたて市今年もスタート！

(写真：もぎたて市メンバーの皆さん)

もぎたて新鮮野菜はいかがですか？

〜JA女性部もぎたて市〜

6月1日、JA女性部もぎたて市会員による「もぎたて市」がAコープいまかね店内で始まりました。

もぎたて市は平成15年から始まり今年で9年目を迎えました。現在総勢14名の会員達がそれぞれ自家栽培した野菜を、早朝店

舗に持ち寄り自ら値付け・陳列しています。名前の通り、毎朝とれたての新鮮な野菜を味わうことが出来るのでお客様にとっても好評です。

もぎたて市は11月頃まで店内にコーナーが設けられ、四季折々の野菜を味わうことが出来ます。是非一度ご利用下さい。



種川小学校で 食農教育教材 を贈呈

〜JAバンク食農教育応援事業〜

6月7日、当JAの小田島親守専務理事が種川小学校を訪問し、児童を代表して児童会長の姥名まゆさんに食農教育教材を贈呈しました。

教材のタイトルは「農業とわたしたちのくらし」。JAバンク食農教育応援事業の活動の一環として、児童達に食と農業について理解を深めてもらうために、平成20年度から毎年贈呈を行っています。詳しくは前号のJA広報いまかねに掲載していますのでご覧下さい。



青年部送別会開催

6月10日農協青年部員の送別会が開かれました。

今年度で部を引退されたのは、神丘の幅口博隆さんと、白石の田中勝博さんの二人。当日は約30名が集まり、開会にあたっては二人に感謝状が贈呈され、開会後は今までの功績を讃える言葉が現役部員から多くかけられ、夜遅くまで大変な賑わいとなりました。

幅口 博隆さん (右)
田中 勝博さん (左)



2人の功績が
讃えられました



農の未来を信じる人たちの羅針盤に

盟友たちの人物ルポ
JA YOUTH
「この人この経営」

注目の青年部をクローズアップ!
JA YOUTH
「活動探訪」

全国の青年部のトピックスと、
JA全青協の最新情報
JA YOUTH
「北から南から」



夢を追う若手農業者たちを
表紙と連動して、カラーページで紹介
COVER STORY 夢人

各界のトップに、リーダーに
必要な資質を問う
決断の瞬間



地上

GOOD EARTH

日本の農と食を担う人々の雑誌

定価(税込み) 普通月号590円/
別冊付録月号(4・11月号)650円

お申し込みはJAまで 発行:JAグループ(社)家の光協会
〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11
TEL: 03-3266-9040 ホームページ <http://www.ienohikari.net>



日本一の今金男爵を 守りましょう!

～ジャガイモシストセンチュウの

拡散防止にご理解・ご協力下さい～

ジャガイモシストセンチュウの侵入・拡散を防ぐには

- ① ジャガイモシストセンチュウは、土に混じって侵入・拡散します。関係者以外は畑に入らないでください。もし入る場合は靴を必ず洗い、畑から出た後も必ず洗ってください。
- ② 種芋や苗木、球根などを購入(ホームセンターなど)する場合、発生地域から知らずのうちに侵入させてしまうことのないようにお願いします。
- ③ 中古の農機具を購入した場合、必ず洗浄して土砂の付着が無いことを確認してから使用してください。
- ④ 魚釣りや山菜採りに出かける場合も畑に入らないように注意してください。

今からしっかり準備

熱中症対策

松島松翠(佐久総合病院名誉院長)

暑くなると「熱中症」を起こす人が増加します。農家の方は炎天下で農作業することが多いので、熱中症には特に注意が必要です。



イラスト：藤本真由美

1 熱中症のメカニズム

私たちの体には、気温が変化しても体温を一定に保とうとする仕組みが備わっています。

暑くなると体温が上がり始めると、皮膚の血流量を増やして皮膚から熱を逃がしたり、汗を多くかいて、その汗が蒸発することによって熱を逃がしたりして、体温を下げます。

ところが、長時間暑さにさらされて大量の汗をかくと、水分や塩分が不足して脱水状態になり、体内の熱をうまく外に逃がせなくなってしまう。すると、体に熱がこもって、さまざまな体の変調を来すようになります。

このような状態が「熱中症」です。「熱中症」では、さまざまな症状が現れます。

症状の軽重から、次のように大きく

| | |
|--------------------|----------------------------|
| 軽症 (Ⅰ度) | 目まい、立ちくらみ、筋肉のこわばり、こむら返りなど。 |
| 中等症 (Ⅱ度) | 頭痛、吐き気、嘔吐(おうと)、体がだるいなど。 |
| 重症 (Ⅲ度) | ふらふらする、立てない、意識障害など。 |

く三つに分けられます。

- 軽症(Ⅰ度)：目まい、立ちくらみ、筋肉のこわばり、こむら返りなど。
- 中等症(Ⅱ度)：頭痛、吐き気、嘔吐(おうと)、体がだるいなど。
- 重症(Ⅲ度)：ふらふらする、立てない、意識障害など。

2 熱中症を予防するには

基本的には、症状は徐々に進みますが、突然に意識障害が起こることもあり、発症したときにはすでに重症になっていることもよくあります。また、目まいや頭痛など、中等症までの症状は熱中症特有の症状ではなく他の病気でも起こるので、気が付かないうちに症状が進んでしまうことがあります。

農家の人に多いのは、炎天下での農作業を長く続けたときですが、中高年の方は、屋内で日常生活を送っているときにも発症しやすいので、注意が必要です。

外での農作業は、暑い時間帯を避け、早朝や夕方の方の気温の低い時間帯に行うようにします。また「つば」の広い帽子で直射日光を遮り、通気性や吸水性の良い衣服を着るようにします。

農作業中は、喉の渇きを感じなく

でも、水分、塩分を小まめに補給します。喉が渴いたと感じたときには、すでに脱水状態になっていることもあるからです。水分と塩分の補給には、お茶と梅干しを一緒に取るとか、ジュース、スポーツドリンクなどが適しています。ただし、アルコール飲料やカフェインを多く含む飲み物は、利尿作用があるため、水分補給には適していません。

「熱中症」は必ずしも外で起きるとは限りません。特に高齢者は屋内で「熱中症」を起こすことが多く、また睡眠中に「熱中症」が起こることもあります。寝る前にもコップ一杯の水を飲むなど、水分補給を行います。

喉の渴きを感じたら



アルコールなど



お茶と梅干し・スポーツドリンクなど

3

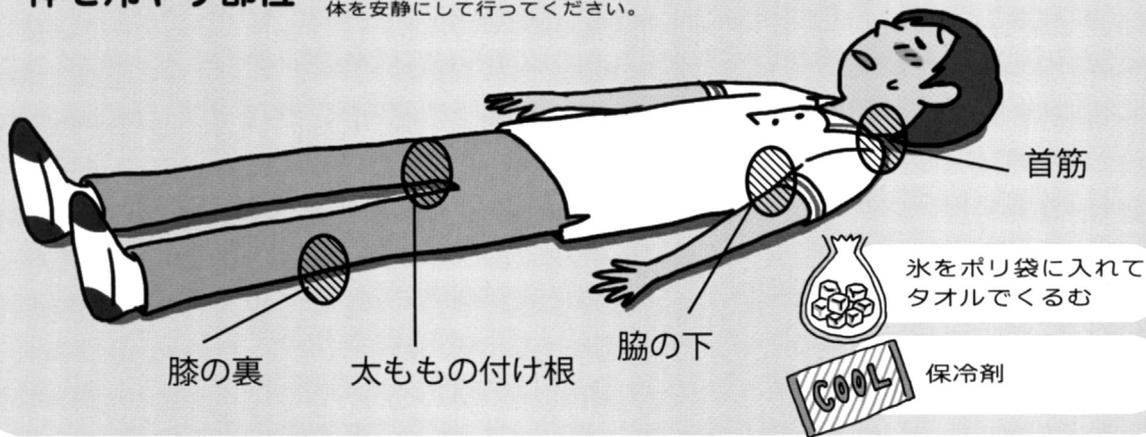
もし熱中症が疑われたら

もし屋外での農作業中に、前に書いた症状が出て「熱中症」の発症が

疑われたら、すぐに作業を中止し、涼しい場所へ移動し、体を冷やし、水分・塩分を補給します。体を冷やすには、水をポリ袋に入れてタオルでくるんだものや、保冷

体を冷やす部位

※実際には涼しい場所で体を安静にして行ってください。



水をポリ袋に入れてタオルでくるむ

保冷剤

剤などを使用します。衣服を脱がせ、ベルトを緩め、首筋、脇の下、太ももの付け根、膝の裏など、太い血管が皮膚の表面を通っている部分に当てます。

以上のことを行っても、症状が改善しない場合は、医療機関を受診します。それまで元気があった人が、暑い環境で急に具合が悪くなったときは、いつも、「熱中症」のことを頭に置いておかねばなりません。

もし最初から中等症以上の症状が出たり、意識障害がある場合は、直ちに救急車を呼んでください。意識がはっきりしていなかったり、吐き気がある場合は、気管に入ると危険なので、無理に水分補給をしないでください。

4 お年寄りには特に注意

全国19都市の調査では、「熱中症」を起こす場所は、年代別に見ると、64歳以下ではさまざまな場所で「熱中症」を起こしていますが、65歳以上の高齢者では、半数以上が自宅で起こしているとのこと。必ずしも暑い戸外とは限らないのです。

お年寄りは、次のような要因で「熱中症」を起こしやすいのです。

一つは、体温調節機能の低下があるからです。末梢(まっしょう)の血流量が少なくなったり、汗をかきに

くくなっています。つまり熱が発散できにくいのです。

二つは、体内の水分量の減少です。筋肉や血流量の減少などによって、体全体が慢性的な水分不足の状態になっています。

三つは、暑さや喉の渴きを感じにくいのです。閉め切った部屋で暑くなっても、暑さを感じにくくなっていくので、エアコンを使わないで過ごしてしまいがちです。しかも喉の渴きをあまり感じなくなるので、室内の温度が上がっても、水分を十分に取らない傾向があります。

このように、お年寄りは戸外だけでなく、屋内で「熱中症」を起こすことが多いので、室内が高湿多湿にならないよう、温度や湿度、通気などにも十分注意しましょう。



今金集落 協定参加者 各位

平成22年度 中山間地域等直接支払制度 今金集落における交付金 収支決算書

1.収入

単位:円

| 項目 | 事業内容 | 計画 | 実績 | 計画比 | 内訳 |
|-----|------|------------|------------|-----|----|
| 交付金 | 交付金 | 47,433,753 | 47,433,753 | 0 | |
| 合計 | | 47,433,753 | 47,433,753 | 0 | |

2.支出

単位:円

| 項目 | 事業内容 | 計画 | 実績 | 計画比 | 内訳・備考 |
|----------------|---------------------|------------|------------|------------|---|
| 集落の管理活動に係わる報酬等 | 役員報酬 | 800,000 | 800,000 | 0 | 代表@30,000×1名 理事@25,000×20名 地区推進委員@15,000×18名 |
| | 日当 | 405,000 | 291,000 | -114,000 | 理事会等7回開催 @3,000円×延べ97名 |
| | 経理等経費 | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 | 事務委託費としてJA今金町へ |
| | 事務費 | 200,000 | 70,829 | -129,171 | 会議お茶 送金手数料 事務用品 |
| | 対象農地の管理対策費 | 10,037,360 | 10,037,296 | -64 | 対象農地管理者へ管理料として |
| 小 計 | | 13,442,360 | 13,199,125 | -243,235 | |
| 農業生産活動等 | 水路・農道の清掃 | 4,312,000 | 4,250,000 | -62,000 | 各地区単位での取組 必須取組、水路農道の清掃活動等 |
| | 農村景観の整備 | 4,222,000 | 4,142,000 | -80,000 | 各地区単位での取組 必須取組、集落内施設の清掃活動 |
| 小 計 | | 8,534,000 | 8,392,000 | -142,000 | |
| 農業生産活動等の体制整備 | 地区組織強化の取り組み | 2,700,000 | 2,576,294 | -123,706 | 担い手を中心とした地区組織強化の推進(各地区での実施) |
| | 農用地等保全マップの作成 | 1,000,000 | 1,155,000 | 155,000 | 農用地等保全マップの作成経費 |
| | 担い手の育成 | 1,000,000 | 472,960 | -527,040 | 農業後継者、組織リーダーを中心とした担い手育成 研修会への参加 |
| | 農畜産物の販促活動 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | 農畜産物販売促進活動に使用 |
| | 酪農振興への取り組み | 650,000 | 548,352 | -101,648 | ミルクメーター一式購入 |
| | 農産物栽培試験 | 500,000 | 200,000 | -300,000 | 各種栽培試験(水稲、小麦、大豆、馬鈴薯、大根) |
| | 新規就農者の確保 | 600,000 | 0 | -600,000 | 該当者無し 次年度実施予定 |
| | 今金男爵の運搬・出荷効率化 | 2,000,000 | 0 | -2,000,000 | 木製パレット購入(23年度購入予定) |
| | 今金男爵品質保持・向上対策 | 700,000 | 651,000 | -49,000 | ジャガロポ・プロキッター購入 ※馬鈴薯収穫時の打撲軽減調査に使用 |
| | ジャガイモシストセンチュウ対策 | 400,000 | 378,000 | -22,000 | ジャガイモシストセンチュウ土壌検診人件費支援 |
| | 生産性向上に向けた圃場整備への取り組み | 4,507,393 | 2,409,400 | -2,097,993 | 今金町地区機械施設利用組合連合会運営費助成 |
| | 共同利用機械の効率的運用への取り組み | 1,400,000 | 1,367,100 | -32,900 | 地区機械施設利用組合 弾丸・ウエイト購入 |
| 小 計 | | 18,457,393 | 12,758,106 | -5,699,287 | |
| 積立 | 積立 | 7,000,000 | 7,000,000 | 0 | 色彩選別機導入積立(H24年まで) |
| 小 計 | | 7,000,000 | 7,000,000 | 0 | |
| 合計 | | 47,433,753 | 41,349,231 | -6,084,522 | |

繰越額 6,084,522